

## 今年も大好評♪「いにしえ俱楽部」と「連続講座」を開催しました。

遺跡見学や古代にちなんだ体験型イベント「いにしえ俱楽部」は、平成25年度も3回開催し155名の参加がありました。また講義形式の「連続講座」も約190名が参加しました。

### ●「チャレンジ！古代鏡づくり」

ミニチュア金属鏡をピカピカにみがきました（8月18日埋文センターにて）。



### ●「おやこで発掘体験IN仁摩」

調査中の古屋敷遺跡で発掘体験。土器が見つかると大人も子どもも大歓声！土器の水洗いも体験しました（9月21日大田市仁摩町にて）。

### ●「出雲の王墓探訪」

古墳や遺跡を歩き古代体感。発掘中の古墳の見学や大橋川の渡し（矢田の渡し）も体験しました（10月20日松江市朝酌町・矢田町・大草町等）。



史跡石屋古墳の見学

### ●「連続講座」

連続講座では職員が講師をつとめ、毎回約50名の聴講がありました。出土品を間近にしての解説が好評でした。



1月19日埋文センターにて「島根の横穴墓」

## 島根県の埋蔵文化財情報誌

# ドキ土器 まいぶん

No.55 発行：平成26年3月

## 刊行案内

### ●発掘成果をわかりやすく紹介

#### 『シリーズしまねの遺跡発掘調査パンフレット』

当センターでは、最新の調査成果を分かりやすくまとめた「シリーズしまねの遺跡発掘調査パンフレット」を刊行しています。これまでに「出雲市山持遺跡」と「益田市金山古墳」を刊行し、今後も年に1~2冊ずつ刊行していく予定です。ご希望の方には無料で配布しています（送料別途必要）。



### ●最新刊です！

これまでの史跡出雲国府跡（松江市）の発掘成果を集成、総括した「史跡出雲国府跡－9総括編－」を刊行し、県内の図書館や文化財関係施設等に配布しました。島根県文化財愛護協会において販売をしています（1冊1500円送料別）。



### ●インターネットで報告書を閲覧できます。

当センターが編集・発行した発掘調査報告書は、島根大学附属図書館が運営する「島根県遺跡資料リポジトリ」にPDFデータを提供し、公開されています。こちらもぜひご活用ください。

（問）島根大学附属図書館遺跡資料リポジトリ事務局

編集・発行

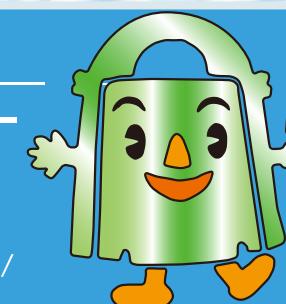
島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒690-0631 松江市打出町33

TEL.0852-36-8608 FAX.0852-36-8025

E-mail:maibun@pref.shimane.lg.jp

<http://pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>



わかりやすい！島根県の埋蔵文化財情報が満載！

## 島根県の埋蔵文化財情報誌

# ドキ土器

# まいぶん

No.55



大橋川右岸に築かれた近世～近代の護岸施設

### 護岸裏込めの土嚢

護岸施設は杭列・横木・裏込めが基本構成で、裏込めにはグリ石のほか松江城下町遺跡でも確認されている土嚢積み、シダを敷いた敷粗朶などが用いられていました。

### 姿を現した近世大橋川の護岸施設

#### 1 灘遺跡（松江市矢田町）

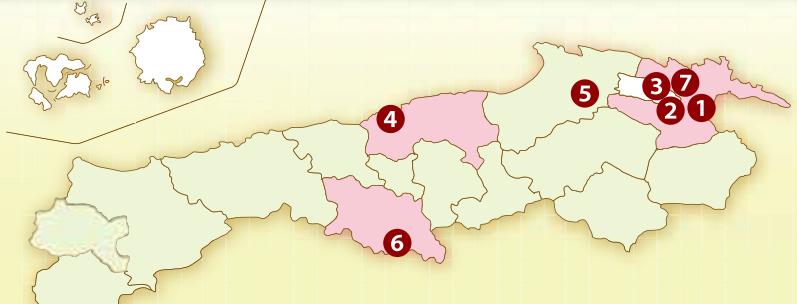
大橋川河川改修工事に伴い発掘調査を実施しました。大橋川右岸矢田渡し東側の低湿地に位置し、古代においては、大橋川が最も狭くなる两岸を含めたこの辺りは、「出雲國風土記」の中で「朝酌促戸」として記載され、出雲国府から隠岐へと通じる交通の要衝地でした。大橋川旧河道と近世後半以降の護岸施設を確認し、河道の埋土下層からは弥生時代中期～平安時代の遺物、上層からは近世後半以降の陶磁器が出土しました。確認された護岸の杭列は5列以上あり、近世後半以降、護岸が徐々に現在の川側へ移動していく様子が明らかとなりました。

■問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

### MAP



# 島根県の最新発掘情報 平成25年度 発掘調査ガイド



数百万年前～  
旧石器時代 約12000年前～  
縄文時代 紀元前5世紀～  
弥生時代 古墳時代 3世紀半～  
7世紀末～  
飛鳥時代 710～  
奈良時代 794～  
平安時代 1192～  
鎌倉時代 1338～  
南北朝時代 室町時代 1373～  
安土桃山時代 1603～  
江戸時代

出雲地方東部最大級の前方後円墳の実像に迫る

うおみづかこふん とうえんじこふん

## ②魚見塚古墳(松江市朝酌町)・③東淵寺古墳(松江市大庭町)

県教育委員会の考古基礎研究事業で、出雲地方東部最大級の前方後円墳2基の学術調査を実施しました。魚見塚古墳は、大橋川の矢田の渡し近くに所在する全長約62mの前方後円墳で、9月から12月にかけて調査しました。古墳造成時に掘られたと考えられる溝の底から、蓋のある高壙が2セットほぼ完全な形で出土し、墳丘築造時の儀礼を示す遺物として注目されます。

東淵寺古墳は、茶臼山西に所在する大型の古墳です。大正14年発行の『島根県誌』で前方後円墳とされていますが、現在は古墳の詳しい形や規模は不明でした。今回の調査で墳裾と墳丘の残存状況が確認され、前方部の付く墳丘であることはほぼ確実と見られ、全長60m以上の前方後円墳である可能性が高いと思われます。



魚見塚古墳後円部盛土の状況(写真左が前方部)



東淵寺古墳発掘調査現地説明会の様子

■問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608



水田の3m下から3000年前のムラが出現！

ふるやしきいせき

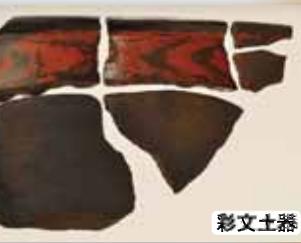
## ④古屋敷遺跡(大田市仁摩町)

一般国道9号静間仁摩道路の建設に伴い6月から2ヶ月にかけて調査しました。遺跡は潮川沿いの平野部最奥に立地し、弥生時代の水田跡や縄文時代の生活の跡が何處も確認されました。このうち、縄文時代晩期(今から約2500年～3000年前)の生活面では、63基もの炉跡や木棺墓、ゴミ捨ての穴など当時の生活の様子を示す遺構が多数見つかりました。

出土品も多彩で、土器では煮炊きに使われた土器の他に、赤く塗られた土器も見つかっています。中でも右下の写真の彩文土器には、東日本に特徴的な文様がベンガラで鮮やかに描かれ、東西日本の交流を示す資料として注目されます。石器では、狩猟や農耕の道具が出土し、木棺墓からは副葬品と見られる緑色凝灰岩製の石鏃も出土しました。その他、雑穀や動物の骨など当時の食生活がうかがえる資料もあります。

古屋敷遺跡の発掘調査は平成26年度も継続しています。

■問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608



■問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

奈良時代に造られた幅9mの古代山陰道を発見！

## ⑤杉沢遺跡(出雲市斐川町)

斐川中央工業団地(仮称)の造成工事に伴い、平成24年7月より弥生時代の住居跡を初め古墳時代後期の横穴墓群、奈良時代の道路遺構などを調査しました。

道路遺構は、標高25mの丘陵の尾根上を道路幅9mに造成し、両側に側溝、路面の一部には波板状凹凸面が認められました。また、この遺構につながる道路跡は、丘陵上に延長が東西1km以上あり、規模では全国にも例がなく貴重な遺構です。この遺構は、奈良の都から石見国を結ぶ古代山陰道の一部と考えられます。

MAP



■問い合わせ：出雲市文化財課(出雲弥生の森博物館) TEL 0853-21-6893

確認！含銀鉛の製錬に関わる遺構を多数

## ⑥床屋製錬遺跡(邑智郡邑南町)

久喜銀山遺跡内に所在する遺跡で、「久喜・大林銀山遺跡調査事業」の一環として調査を実施しました。「床屋」という地名は、「吹屋」と同じく製錬を行った場所を示す名称と考えられます。「床屋千軒」の伝承もあり、この地で採掘や製錬に関わる多くの人々が居住した時期があったものと想像できます。

これまでに約4000m<sup>2</sup>の調査範囲から約80基の含銀鉛の製錬に関わる遺構を確認、製錬前に鉱石中の硫黄分の除去等を行った「焼窯跡」と考えられます。江戸期の陶磁器片がわずかに出土していますが遺跡の年代を決定できるものではありません。また、カラミ(非鉄金属を製錬する際に生じたカス)の分布する箇所もありますが「製錬炉跡」の特定には至らず、平成26年度も引き続き調査を実施する予定です。



■問い合わせ：邑南町教育委員会 TEL 0855-83-1127

MAP



焼窯跡(斜面下方の石組は通風口)

■問い合わせ：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター TEL 0852-36-8608

江戸時代前期から中期の与力屋敷跡

## ⑦松江城下町遺跡[南田町134-1](松江市南田町)

城山北公園線(通称大手前通り)拡幅工事に伴い平成25年11月から発掘調査を行っています。松江藩主松平氏の筆頭家老大橋茂右衛門の与力(家臣)屋敷にあたることが、城下町絵図で判っていましたが、調査を行ったところ、非常に良好な状態で与力屋敷跡が残っていることが確認できました。江戸時代前期から中期にかけてのものと考えられ、幾度も火災に遭いながら、その都度、建て替えを行っていたことが判明しました。また、火災の後始末で捨てられた家財道具も大量に出土しました。

屋敷の床下からは、地鎮具として埋められたと思われる木桶がいくつも発見されました。



■問い合わせ：松江市教育委員会文化財課 TEL 0852-55-5284

MAP

